

5/1

2009 No.24

特別定価 550  
yen

# pen

with New Attitude

総力特集

いま探訪したいのは、ここだ。

# 男の東京マップ。

注目のエリア

青山  
銀座

吉祥寺

浅草橋・馬喰町

松濤・富ヶ谷

武蔵小山

東京を語る人々

池坊美佳  
岡田哲哉  
沖野修也  
清川あさみ  
栗野宏文  
A・ゲルマン  
ケンタロウ  
小山薰堂  
SO+ba  
高橋幸宏  
滝沢直己  
幅允孝  
バナナマン  
横山寛久

瀧本幹也  
田中知之  
束芋  
ゲン垂水  
遠山正道  
永積崇  
中村孝則  
西野嘉章  
服部一成  
柳家権太樓  
箭内道彦  
山口淳  
森岡弘  
水野学  
松井龍哉  
M・プロシコ  
藤巻幸夫  
平野啓一郎

小山宇一  
山本宇一  
柳家権太樓  
箭内道彦  
山口淳  
森岡弘  
水野学  
松井龍哉  
M・プロシコ  
藤巻幸夫  
平野啓一郎  
瀧本幹也  
田中知之  
束芋  
ゲン垂水  
遠山正道  
永積崇  
中村孝則  
西野嘉章  
服部一成  
柳家権太樓  
箭内道彦  
山口淳  
森岡弘  
水野学  
松井龍哉  
M・プロシコ  
藤巻幸夫  
平野啓一郎

トータル飲料コーディネーター。米と酒の聖地、福井県に生を受ける。1989年に渡仏し、醸造を学び、ソムリエに。日本酒サービス研究会(SSI)理事。「All About」の日本酒・焼酎ガイド(<http://allabout.co.jp/gourmet/sake/>)の担当も務める。近著に世界初バイブルの日本酒本「世界に誇る一品格の名酒」。

# 今宵も一杯

61

杯目

文・友田晶子

## 南国土佐の熱き想いが滾る、宇宙仕込みの日本酒。

2009年は「世界天文年」だってご存じでした? カガリエ・ガリレイが望遠鏡から初めて宇宙を覗いたのが1609年。ちょうど今年が400年の節目にあたることから、国際連合、ユネスコ、国際天文学連合が今年を「世界天文年」に定めたのだ。この話、教えてもらったのはお酒から。はい、私はなんでもお酒が起点。

知ったきっかけは、高知の司牡丹酒造がこの春発売した「純米吟醸 宇宙龍」と「宇宙のパワーで夢を叶える純米酒」の2種。なんか、怪しい名前でしょ。でも4年前から「土佐宇宙酒」に取り組んでいる高知の有志メンバーたちは本気だ。この宇宙酒を生み出す酵母や酒米は、2005年打ち上げのロケットに積み込み、国際宇宙ステーションで繁殖させたもの。いわば「宇宙育ち」の原料だ。いやあ、よくそんなことを思いついたね。その後、宇宙酵母と宇宙米はみごとに繁殖し、2009年産の日本酒は100%宇宙育ちの

原料で仕込めたのだと。宇宙酒チームの先頭を走るのは司牡丹酒造。「宇宙龍」は、同蔵が坂本龍馬と親交があったのに加え、龍馬が生まれた天保6年は、76年に一度のハーレ彗星が地球に接近した年で、この彗星の姿から「龍馬」と命名されたという逸話に由来する。また、大政奉還後「次は、世界の海援隊にでもなりますかの」との言葉を残した龍馬さん、現代に生きいたら「宇宙の海援隊に」と言っていたに違いない。そんな龍馬の壮大なイメージに因んだネーミングなのだ。で、「宇宙のパワー」の方は、原料を宇宙でという一見、無謀なアイデアを現実化できたのはきっと宇宙のパワー

が味方してくれたから、という感謝を込めたもの。叶えた夢を思い描きながら一口飲めば夢が現実になるかも、というメッセージにもなっている。実はこの宇宙酒、3月21日が発売解禁日。理由は「3、2、1、発射!」だから……。やっぱ、ふざけているとしか思えないね。

味はどうらもすつきりと品がよく飲みやすいタイプ。宇宙の味かどうかは……ふうむ、そうかも、としか言えません。ま、司牡丹もガリエオ同様400年の歴史があるお蔵だし、「世界天文年」に日本人飛行士が宇宙で活躍中だから、このノリのいい宇宙酒で景気よく乾杯、も一興かな。

### 「土佐宇宙酒」が飲める店

DINING BAR 譲丸 大手町店  
ダイニングバー・ジンマリ オオテマチテン  
東京都千代田区大手町1-5-1 ファーストスクエアビルB1F  
03-3217-1330  
11時~15時、17時~22時45分  
休日、日、祝  
東京メトロ・都営地下鉄大手町駅から徒歩1分



**土佐宇宙酒**  
Tosa Uchushu

原産国 日本

左から:「宇宙のパワーで夢を叶える純米酒」(純米酒)、ラベルに坂本龍馬の肖像が躍る「宇宙龍」(純米吟醸酒)。土佐宇宙酒認定基準を満たした日本酒だけに、認定シール(ボトル上部参照)が貼付される。